

第4回雇用政策研究会で議論して頂く論点（案）

1 働く人すべての職業キャリア形成の促進

(1) 職業キャリア形成のための環境整備

- ・ 安定した職業キャリア形成を図るために、職業能力の評価制度の整備やキャリアコンサルティングの高度化、教育訓練機関の育成等のインフラ作りをどのように進めていくべきか。
- ・ キャリア形成の機会に恵まれない者の支援をどのように行っていくべきか。

(2) 職業生涯を通じたキャリア支援

- ・ 過度に企業に依存する職業キャリアや意識から自立するためには、どのような方策が考えられるか。
- ・ 職業生涯におけるキャリアの転機や節目において、今後のキャリアを考える機会をどのように担保していくか。
- ・ キャリアの中に失敗があったときに、職業能力開発により再度キャリア形成を図れる環境や支援をどのように整備していくべきか。
- ・ 多様な働き方を実現するための、正規社員以外の人々への職業能力開発に対するコストは、企業・労働者・公共部門のいずれが負うべきか。

2 若者の雇用・生活の安定と働く意欲の向上

- ・ 学校から職場への円滑な移行を図っていくためには、新卒一括採用の持つ機能・役割の維持のほか、どのような取組を行っていくべきか。
- ・ 初等中等教育段階から、どのような教育や職業意識の醸成を行っていくべきか。
- ・ ニートやフリーター、また若年の日雇い派遣労働者が一日でも早く職業を通じて安定した生活を送るためには、これまでの取組に加え、どのような取組が必要か。

3 外国人労働者問題について

- ・ 我が国の産業を高度化し、国際競争力の向上を担う高度な人材を確保する観点から、専門的・技術的分野の外国人の積極的な就業促進が必要と考えるが、その実現に向けて、企業における雇用管理はどう改善されるべきか。また、このほかマッチング機能の強化のために、どんな方策が考えられるか。
- ・ 将来専門的・技術的分野の労働者となりうる留学生の国内就職の促進を図るため、どんな支援策が考えられるか。
- ・ 将来の労働力不足の懸念に対しては、安易に外国人労働者の受け入れ範囲を拡大して対応するのではなく、まずは国内の若者、女性、高齢者等の労働参加を促進することが重要であり、そのための環境整備を進めるべきではないか